

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	当科リエゾンにおいて直接因子が発症のトリガーとならないせん妄症例の臨床的特徴		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2026年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院入院中にせん妄を発症し当科リエゾン治療を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2021年1月1日 から 2023年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	精神科神経科、第1内科、第2内科、第3内科、呼吸器内科、脳神経内科、第1外科、第2外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、小児科、麻酔科、救急科、歯科口腔外科		
⑦ 研究責任者	氏名	山科貴裕	所属 精神科神経科
⑧ 使用する情報等	<p>日常診療の記録から収集する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本属性（電子カルテID、性別、年齢） せん妄のトリガーとなった直接因子の有無（直近の手術/中枢性疾患/全身性疾患/薬剤/アルコール離脱） 既往歴（認知症、せん妄、アルコール多飲歴、視覚障害、聴覚障害） せん妄発症時の血液データ（Alb、BUN、BUN/Cr比、Na、K、Cl、Ca、P、Hb） <p>本研究で検討する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 各症例のリスク因子を検討 せん妄症例の特徴を分析 		
⑨ 研究の概要	<p>せん妄は、入院期間や医療費の増加、QOL低下を招くなど医学的意義の大きい病態であり、早期発見・早期対応が必要です。せん妄のリスク因子として、準備因子・促進因子・直接因子の3因子仮説が広く知られています。中でも直接因子は単一でせん妄を起こし得る要因とされており、実際に多くの症例でせん妄の引き金となっています。一方で、直接因子が存在しない症例や、直接因子が存在していてもせん妄発症の引き金となっていない症例もみられます。このような症例では促進因子や準備因子がせん妄の「引き金となる因子」（以下、トリガー因子）となっており、直接因子がトリ</p>		

	<p>ガー因子となっているせん妄とは異なる特徴を有している可能性があります。そこで本研究では、そのようなせん妄症例の特徴を解析し、せん妄のリスク評価や予防に活用することを目的とします。2021～2023年に当科リエゾン紹介となった、せん妄患者のうち直接因子がトリガー因子となっていない患者の特徴を分析する研究を行います。山口大学医学部附属病院精神科神経科の④の対象期間のカルテデータを用いて、せん妄発症者の性別や年齢など基本属性、せん妄発症のトリガーとなった要因、血液データに関する情報を研究に使用します。比較に必要な情報のみ収集し、情報は十分注意して取り扱います。</p>			
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2024年12月3日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	精神科神経科の講座運営費			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 精神科神経科 担当者：山科貴裕			
	電話	0836-22-2255	FAX	0836-22-2253